

平成28年度議会報告会報告書

平成28年8月
庄原市議会

目 次

平成28年度庄原市議会報告会

1. 開催の目的	1
2. 開催地区、開催日時及び参加者数	1
3. 議会報告会（報告事項）次第	2
4. 班編成	2
5. 報告事項に対する質疑応答（一般会場）	3
(1) 公契約条例について	3
(2) 地産地消について	5
(3) 高齢者の交通対策について	10
(4) 林業振興施策について	13
(5) 農業振興施策について	14
(6) 観光振興施策について	16
6. 意見交換	17
7. 議会へ対する質疑・意見・要望	24
8. 行政へ対する質疑・意見・要望	26
9. 報告事項に対する質疑応答（特設会場）	29
10. 議会報告会の検証結果	31

平成28年度庄原市議会報告会

1. 開催の目的

市民が議会の活動に参加できるような懇談会、議会報告会等を開催するよう努めるため。(庄原市議会基本条例第5条第3項)

2. 開催地区、開催日時及び参加者数

地域	地区	開催日	開催時間	会場	参加者数	担当班
庄原	庄原	7月19日(火)	19:00~21:00	庄原市民会館	27	1
	高	7月11日(月)	19:00~21:00	高自治振興センター	12	2
	本村	7月11日(月)	19:00~21:00	本村自治振興センター	21	3
	峰田	7月13日(水)	19:00~20:20	峰田自治振興センター	18	4
	敷信	7月15日(金)	19:00~21:00	敷信地区民ふれあい広場	8	5
	東	7月13日(水)	19:00~20:45	東自治振興センター	43	1
	山内	7月19日(火)	19:00~20:25	山内自治振興センター	10	2
	北	7月15日(金)	19:00~21:00	北自治振興センター	5	3
西城	西城	7月11日(月)	19:00~20:30	西城自治振興センター	12	4
	八銚	7月12日(火)	19:00~21:00	八銚自治振興センター	11	5
東城	小奴可	7月15日(金)	19:00~21:00	小奴可自治振興センター	6	2
	八幡	7月13日(水)	19:00~21:00	八幡自治振興センター	29	3
	田森	7月12日(火)	19:00~21:30	田森自治振興センター	34	4
	東城	7月14日(木)	19:00~20:25	東城自治振興センター	18	1
	帝釈	7月11日(月)	19:00~20:40	帝釈自治振興センター	27	5
	新坂	7月14日(木)	19:00~20:40	新坂自治振興センター	9	2
	久代	7月11日(月)	19:00~21:00	久代自治振興センター	19	1
口和	口和	7月14日(木)	19:00~21:00	口和自治振興センター	13	3
高野	高野	7月14日(木)	19:00~20:18	上高自治振興センター	7	4
比和	比和	7月14日(木)	19:00~20:50	比和自治振興センター	13	5
総領	総領	7月12日(火)	18:30~19:45	総領自治振興センター	33	1
一般会場計					375	
特設	庄原格致高校	7月15日(金)	10:00~11:00	庄原格致高校	301	特設1
	西城紫水高校	7月15日(金)	15:20~16:15	西城紫水高校	48	特設2
	東城高校	7月21日(木)	15:35~16:25	東城高校	66	特設3
特設会場計					415	
合計					790	

年度	期間	開催時間(原則)	会場数	参加者数	班数
平成23年度	7月1日~21日	19:00~21:00	22	488	8
平成24年度	7月3日~20日	19:00~21:00	21	369	8
平成25年度	7月3日~18日	19:00~21:00	21	328	5
平成26年度	7月3日~18日	19:00~21:00	21	430	5
平成27年度	7月3日~24日	19:00~21:00	22	446	7(内特設2)

3. 議会報告会（報告事項）次第

<p>【一般会場】</p> <p>(1) 開会あいさつ</p> <p>(2) 議会活動報告</p> <p>①公契約条例について</p> <p>②地産地消について</p> <p>③高齢者の交通対策について</p> <p>④林業振興施策について</p> <p>⑤農業振興施策について</p> <p>⑥観光振興施策について</p> <p>(3) 質疑応答</p> <p>(4) 意見交換（地域別テーマ）</p> <p>(5) 閉会あいさつ</p> <p>※時間配分 (1)～(3) 1時間 (4)～(5) 1時間</p>	<p>【特設会場】</p> <p>(1) 開会あいさつ</p> <p>(2) 議会からの報告</p> <p>①議会の仕組みと役割</p> <p>②庄原市議会の活動報告</p> <p>(3) 質疑応答</p> <p>(4) 閉会あいさつ</p> <p>※時間配分 全体を50分</p>
--	--

4. 班編成

（一般会場）

班	総務常任委員	教育民生常任委員	企画建設常任委員
1	竹内 光義 赤木 忠徳	○横路 政之	門脇 俊照
2	宇江田豊彦	谷口 隆明 八谷 文策	○垣内 秀孝
3	○岡村 信吉	吉方 明美	田中 五郎 林 高正
4	松浦 昇	坂本 義明	福山 権二 ○徳永 泰臣
5	○五島 誠	近藤 久子	政野 太

（特設会場）

会場	班	議員			
庄原格致高校	特設1班	○五島 誠 林 高正	堀井 秀昭 松浦 昇	宇江田 豊彦 吉方 明美	垣内 秀孝
西城紫水高校	特設2班	○福山 権二 田中 五郎	八谷 文策 坂本 義明	門脇 俊照 近藤 久子	竹内 光義
東城高校	特設3班	○岡村 信吉 徳永 泰臣	谷口 隆明 政野 太	赤木 忠徳	横路 政之

※ここからのページは、会議の一連の流れで重複したり、まとめて回答するなど空欄になっているところがあります。

5. 報告事項に対する質疑応答

(1) 公契約条例について	
質問・意見	会場での回答
【 庄原地域 庄原地区 】	
公契約条例(案)を策定した場合に、公共事業は、本市の地域において経済効果が多いので、市民である従業員さんにどのように反映していくのか。	従業員さんに対して、適正な労働条件の確保や社会的な価格の実現を図りたい。
今の説明では庄原市では市長からの条例制定の提案は見込まれないと思うが。	粘り強く制定を求めています。
【 庄原地域 高地区 】	
公契約については、大変書類が多いのでこれを簡素化することができないのか。	市内の業者を育てる考えで取り組んでいるのでご理解いただきたい。自治振興センターもあてはまると思う。
【 庄原地域 本村地区 】	
アンケートを取られたが、委員会として、どうしようと考えているのか。労働者の賃金を上げるために、委員会としてどう考えているのか。	元請け業者から下請けに降りた時の賃金の差をなくすよう調査している。アンケートは対象数と回答率から、信頼性に問題があるのではないかと。条例制定をすることを辞さないと考えている。
【 西城地域 西城地区 】	
公契約条例を研究するのに、伊賀市、茨木市に行ったのはなぜか。市の規模、周辺状況からすると庄原市と異なる環境だが、何をポイントに見に行かれたのか。明確にしていれば、皆さん理解できると思う。	市議会としては条例化を求めている。伊賀市は理念型条例を制定しようとしている。その経緯を調査し実情を把握するために視察を行った。茨木市は条例ではなく指針としてまとめており、その状況を調査した。
資料を取り寄せるだけでよいのでは。視察で何を見て帰るのが大事。条例化されていなければ、事前に資料を取り寄せればよいのではないかと。視察後の提言のまとめ等をされるのは当然だが、調査前に委員会で視察のポイント等を議論されるべきだ。	事前に調査も行っている。
【 西城地域 八鉾地区 】	
労働条件の年収をどのように考えておられるのか。	賃金の目安としては、労務単価の80～85%の数字であるが、庄原市についてはこれからの検討課題です。
労務単価とは何か。	公共工事の労働者の賃金単価です。国が定めるものです。
【 東城地域 帝釈地区 】	
業者を保護する観点も必要であり、よい方向で進めてほしい。	

【 東城地域 新坂地区 】	
地元業者が、より育っていく方法を考えていくべきではないか。	より適正な条例を作る様に、議会でよい方向に進んで行きたい。
学校関係などの入札はどのようにされているのか。	入札制度には課題が多くあります。安くするほうが良いとは限らない。また、最低制限価格、登録制度、随契、今後とも、さまざまな課題の検討を進めて行きたい。
議会から執行者にしっかりと是正を申し入れるよう。	
【 東城地域 久代地区 】	
指定管理を受けている事業者が(特に保育所の業務)、従業員に対して積算金額を正確に支給されてないし、それぞれの事業者で差異があるのは、なぜか。	この課題については、6月議会でも議員の一般質問が多く出ているし、執行者も内容をしっかりと調査して改善に向けて努力すると答弁があった。そして今年度の決算委員会では、改めてしっかりと、この問題を議論していく。
【 口和地域 口和地区 】	
この件について視察に行かれたのは何か問題が発生してのうえか。または、とりあえずやってみようということで視察に行かれたのか。	これは委員会の継続調査事項であり、まちの活性化のためにも条例化が必要と考え行政視察を行った。
アンケートを取ったが不十分だったとのことだが、何が課題なのか不明なまま視察に行ったのか。	元請けの賃金はわかるが、下請け、孫請けの段階での賃金は聞き取りは難しい。調査を続ける中で見える課題がある。
口和は商店が次々と店を閉じられた。こういったことは取り上げられていないがどうか。	
行っても効果が上がっていないではないか。執行者の考えが変わらないなら税金の無駄遣いだったのではないか。	地域の活性化には賃金、所得の安定が大切です。行政視察は視察後にすぐに効果を期待するのは難しい。検討、協議を続けていく。
【 比和地域 比和地区 】	
小規模修繕工事の発注方法の検討については、どのように考えているか。	資料に示した4項目の発注方法については、まだ具体的に結論は出ていないが、市の方針が出された段階で議論を行っていく。

(2) 地産地消について	
質疑・意見	会場での回答
【 庄原地域 庄原地区 】	
現在、庄原市は各地域で共同調理場を整備して事業している(現在は9カ所)ので、今後の地産地消に関しての数値目標を進めることができるのか。	改めて地産地消を進めるに課題はあるが、委員会として粘り強く議論していく。この地産地消を進めるには執行者との議論が必要です。
【 庄原地域 高地区 】	
地産地消を考えるなら、庄原で加工することにより年間を通じて使用することができる。農家は病虫害に対する認識が少ないので、議会と農協で話し合っていないか。	冷凍食品などは給食施設等でもやっているが、農協等とも話し合っていきたいと思う。
【 庄原地域 本村地区 】	
保育所や学校におけるアレルギー誤食が、特に庄原は多いが、どう対策しているのか。	
他市ではそういった問題が出ていないところもある。他市のことを勉強すべきだ。庄原市だけ異常に多いのは何故だろうかと思う。	マニュアルを作成してチェックをしておられるが、それでも防ぎ切れていない実態がある。最終的には人的対応(人員増)しかないのではないだろうか。
秋田県五城目中学校を選定した理由は何か。県内でも視察できるのではないか。	五城目中学校は全国学校給食のコンクールで、連続金賞を受賞しており、給食に対する取り組みが進んでいるということで選定した。
【 庄原地域 敷信地区 】	
給食の食材に、捨てている野菜を使うことや個人農家のもの、旬の野菜を使うことを考えてほしい。	市内だけではなく県内まで広げて地元食材として考えている。栄養士のアイデアを求めることも考えている。
地産地消ができない理由が何なのか考えていかなければならない。国としても100%を目指すべき。また、調味料も大切ではないか。	
福祉会の取り組みなどを参考にしてみても。	
そもそも農業振興計画の地産地消率の目標設定が低いのではないか。	確実にクリアしていかなければならないため、この設定になっている。
地産地消というより、地元で食べるものを地元で作る地産地消を進めるべきではないか。	

【 庄原地域 東地区 】	
行政視察先を遠方の秋田市へ行く選択をしたのは何故か。また、本市と規模・人口など同じような地域で研修した方が、大きな効果が出るのではないか。	大きな都市でも、本市のような小さい市町と同じ課題を持ちながら、施策を推進されて成果が出ている地域だからこそ、委員会で協議して決めた。今後は、いろいろな選択肢を参考にしたい。
民間企業の立場からすると、現在は情報通信網などネットワークをしっかりと勉強して視察先を選択しないと、費用対効果が期待出来ないのでは。	改めて皆さんのご意見を今度の参考にしたい。
【 庄原地域 北地区 】	
以前、学校給食にジャガイモを頼まれたが、サイズのばらつきがあり納品が難しかった。納品する農家は大規模でないと感じた。北地区ではこの条件に合う農家はない。	条件が整い、実施が可能な地域から取組を検討すべきだと思う。
【 西城地域 西城地区 】	
意外と庄原産を使っていないので残念だが、共同調理場なので規格があるのも理解できる。視察先は食事だけでなく、何を提供するのかといった目的がある点も素晴らしい。移住者も学校給食を気にされる方が多く、定住促進にもつながる取り組み。地元農家も子ども達に食べさせるため、野菜を作るということになれば意識が違ふ。視察で終わらず、早急に対応できる取り組みを期待する。	教育総務課長も同行し、教育長にも話をしている。教育委員会も実施したいが、JA や地域も含めて流通の関係で課題がある。こうして皆さんから話を聞くことや、地域で声を上げて盛り上げてもらうことで、変えていくことができるかもしれない。
食育、給食は定住や不登校、地元農家の生きがい作りなど、食を通じた地域の多面的効果がある。地元産をもっと活用してほしい。そのために、3年間くらい前から計画をすべきではないか。計画があれば、作付け計画、生産計画ができる。また、事前に計画があれば、契約農家等で農薬の使用を減らすなどの対応もできる。地産地消の実現に向け、3年くらい前から、給食の計画を、専業農家、生産組合に提示することを提案する。	行政の根幹に関わることなので、すぐには実施できないかもしれないが、実現に向けて執行者へも伝え働きかけていきたい。
【 東城地域 小奴可地区 】	
地産地消について、消費者がしっかりしている所では、給食に合わせて生産すると聞く。他地域では生産者に対してもっと、厳しい条件をつけていると聞く。	学校給食に対応できるシステムの事をもう少し確立させたい。
【 東城地域 八幡地区 】	
共同調理場では難しいと言われたが、東城ではさらに中学校の給食まで一緒に調理することとしている。矛盾していないか。	共同調理場への移行は本市の方針である。しかし、その中でも小規模の調理場においては、地産地消が可能と考える。

<p>本市の地元産物の利用率は 18.5%と言われたが、調理をする現場から地元生産者に対して、どの品目がどれくらい必要なのかを検討するための協議をされたらどうかと思うがいかがか。</p>	<p>同感です。しかし、具体的な協議の場を設ける取り組みはなされていない。当委員会としてもぜひ進めたい。</p>
<p>【 東城地域 田森地区 】</p>	
<p>市は共同調理場を整備しつつあるのに、なぜ学校給食(自校方式)を視察するのか。先進地での良さを聞いても参考にしないのか。議員も地域と共に地元食材利用について、決意を持って考えて欲しい。</p>	
<p>共同調理場では、食材の導入について農家の参入ができなかった。生産者の熱意や郷土愛の醸成という部分からも、生産者の顔が見える共同調理場への地場産物の導入について、取り組んでいただきたい。</p>	
<p>報告書に庄原市の地産地消率や現状がどうか、議会としてどのように対応したいか等を記載した方が良い。</p>	
<p>食育、地産地消の取り組みは以前からあるが、窓口となる市の担当者がいなかった。以前、教育委員会の呼びかけで関係者が集まって実態を報告したことがあるが、組織がなく動けなかった。また、調理の現場で制約が多い。地産地消に本気で取り組むのであれば、報告だけでなく、栄養士も視察へ行き、現場の制約を取り除き、執行部と常任委員会で機構を作り、踏み込んで、実現を目指した具体的な取り組みをすべきだ。</p>	
<p>地産地消の問題、言葉での説明だけでなく現場も含めて、しっかりとした考え方のもと説明が欲しい。製品の納入、入札など、すべて考えをしっかりと作って来て欲しい。なぜ JA なのか。</p>	<p>視察した全てを庄原市に採用するわけではない。地元の野菜を冷凍保存や、加工して保存して使用するなど、一つのヒントになったと思う。教育委員会の課長も同行しているので状況は把握されているが、共同調理場で地産地消を反映させるには、課題が多く進まないのが現状。委員会へ持ち帰って検討をする。</p>
<p>【 東城地域 帝釈地区 】</p>	
<p>学校給食においては、やる気になれば可能である。生産者側にとっても励みになると思う。前に進めてほしい。</p>	
<p>【 東城地域 新坂地区 】</p>	
<p>視察報告がよくわからないので、もっと、わかりやすくしてほしい。</p>	<p>次回に改良したい。</p>

【 東城地域 久代地区 】	
現在の庄原市は、各地域で共同調理場を整備して事業している(現在は9カ所)が自校給食に改めてはどうか。	改めて、委員会でしっかりと議論していく。そしてこの地産地消を進めるには執行者との議論が必要です。
【 口和地域 口和地区 】	
中学校での食育をした後、その後(卒業後)の追跡調査はしているのか。	高校、社会人になってからの追跡調査はしていない。しかし、中学時代の食育を通じて、大人になってから自分で作って食べることが出来る力をつけさせることを目的としておられる。
合併前はそれぞれ自校方式でやっていた。合併後、食材を共同購入することにより、安く仕入れることが出来るようになったが、口和の子どもには口和のコシヒカリを食べさせたいが、単価が高くなる。以前は、年1~2回地元野菜で調理していた。今は、全校金太郎あめのように同じものを食べさせている。行政が食育というものに対して、地元産物を提供するという姿勢が必要なのではないか。教育委員会と行政が本気になってくれないといけない。	
食育とは何を教えるのか、はっきり理解できない。	生きる力をつけるということと、作った人への感謝、身近な食材で普通の食事を作ることが出来る人間に育て上げることです。
食育を受けた人間と受けていない人間との間に、どのような違いが出ているのか。	
「食は医なり」、「医食同源」を教えていかなければならない。そうすることにより、将来、成人病を防ぐことができる。学校に学校農場を作ればいいと思う。自分たちの体は何で構成されているのか。小さい時から教えることが出来る。素晴らしい取り組みだと思う。保護者も農家も一緒に取り組む。そうすれば、キャベツに虫がいることも理解できる。	本市において、取り入れられるところから取り入れていくよう本委員会としても努力していきたい。
食育は何の時間に教えるのか。それは、全体の教科の中で教える。米はどんなふうに実るのかなど、一番基本のことを知らない子どもが多い。	
この取り組みは、現場の調理員さんが一番面倒臭がって、嫌うのではないか。袋を破ったらすぐ使えるものを期待している。	この取り組みは、栄養士、調理員、保護者、農家の人たちの信頼関係がなくては成り立たない取り組みです。

<p>共同調理場になって、一人でも人を減らしたいという会社方針の中で、誰がこんな面倒なことをやるのか。以前に、「ごぼうを 150g 持ってきてくれ」と言われた。残ったごぼうは使い物にならないし、こんな面倒なことは誰もやらない。会社へ対して、地産地消の意義をしっかりと伝えないと理解してもらえないのではないかな。</p>	
<p>【 比和地域 比和地区 】</p>	
<p>学校給食の食材について、JAとの関係はどうか。</p>	<p>ご協力をいただいている部分もある。</p>
<p>【 総領地域 総領地区 】</p>	
<p>重要な課題であるし、特に学校給食においては、安心・安全な食材を提供することが大切であり、そうすることで素晴らしい食育を皆が強く感じるのではないかな。また、地産地消を推進することは、地域経済の発展につながると思う。</p>	<p>本市では、既に共同調理場方式を採用しているが、財政効率化の視点のみではなく、学校給食において、食育としての視点から地産地消に取り組み、人的・財政的な対応をすべきと考える。ただ、執行者も将来に向けて予算が拡大する面もあり、慎重になっている。</p>
<p>食材を大型冷蔵庫に保管することで幅広く供給できるのでは。</p>	<p>他の市町では、大型冷蔵庫で保管して食材を提供している例もあり、検討が必要と思う。</p>
<p>視察に行く際は、本市と同様の条件の地域に行かないと成果がないのでは</p>	<p>大切なことと思うが、全国には参考となる様々な取り組みがある。この度の例で言えば、給食のレシピをまとめ卒業生に渡したりするなど、学校給食における素晴らしい取組もあり、これらをもとに提言も行っている。</p>
<p>地産地消を進めるために大切なのは仕組みづくりであり、そのためのコーディネーターを育成・採用し、課題解決に向けた取組を進めるべきでは。</p>	<p>素晴らしい提案であり、共同調理場方式においても可能なこともあると思う。</p>

(3) 高齢者の交通対策について

質疑・意見	会場での回答
【 庄原地域 庄原地区 】	
<p>本市と秋田市を比較して人口規模が大きく異なるが、どのように参考とされるのか。</p>	<p>今後において、現在の高齢者の移動手段確保のための公共交通(バス)施策は、すぐに方向転換は出来ないが、高齢者の負担軽減等も考慮し、市内全域において、市民タクシーを運行できる体制を整備すべきである。</p>
【 庄原地域 本村地区 】	
<p>ここにはバスのことだけしか書いてないが、芸備線については記述がない。JRも公共交通機関である。JRについてはどう考えているのか。</p>	<p>JR 落合～東城間は全国で乗車率が一番低い。平均乗降者数8人である。芸備線の役割は山陽本線に何かあった時、補完するというものであるため、即なくなることはないだろう。しかし、経常赤字が数十億円となると考えざるを得ない。観光と抱き合わせたセットプランが考えられている。</p>
【 庄原地域 北地区 】	
<p>バスが天津恵線を走っているが、中学生のためのバスである。地元としては当面中学生がいなくなったので、廃止すべきと話したが、「一度廃止したら復活できない」との理由で、今は誰も乗らないバスが走っており、無駄だと感じている。いらないものは走らせないようにすべきだ。</p>	
<p>市民タクシーの制度を北地区では活用している。タクシーの数も減少してきているので、次第に利用しにくくなるのではないかと思う。</p>	<p>これから10年後、20年後、この地域でどう生きていくかを考える一つのツールとして考えなければならぬ。 法の仕組みによっては色々工夫できるようになってきた。レンタカー扱いで自家用車を利用するなどの方法もあるようであり、多方面で検討する必要がある。</p>
【 西城地域 八鋒地区 】	
<p>現在、デマンド方式での交通体系であるが、人口減少の中、不安が大きい。安心な交通対策を考えてほしい。</p>	<p>2億4,000万円という多額な費用を要している庄原市である。乗車人数が少ない便については市民タクシーへの移行が進められている。地域のニーズにあった交通便となる為に地元の声を出していただきたい。</p>
【 東城地域 八幡地区 】	
<p>東城支所から市民タクシーの導入について説明があった。当時、地域生活バスが通っており、このバスを廃止するなら市民タクシーを導入すると言われた。比較的近いところにバス停があるので、タクシー導入はあまり賛成できない。</p>	<p>本市の財政と利用者負担のことを考えて、地元として最善の方法を考えればどうだろうか。バスが走っているが、ほとんど乗車がない。5年後を想定してみたい。後継者がいる人はいいが、そうでない人は困るのではないだろうか。</p>

【 東城地域 田森地区 】	
<p>三江線の廃止の問題。今となっては存続が難しい状況。芸備線も今年度中に廃止の話がでるとの噂もある。地域にとっては大切な交通機関で廃止が発表されてからでは遅いので、早く情報を掴んで住民へも提供して欲しい。</p>	<p>芸備線の三次落合区間の利用者数は少ない。東城も西城も地域や民間での取り組みやイベントもされており、廃止にならないよう行政も取り組みたい。</p>
【 東城地域 帝釈地区 】	
<p>帝釈地区においては、10月から全てのバス路線が市民タクシーに移行する。利用料金は300円～600円としているが、2人の乗車を確保し、赤字が出ないようにすることは困難な状況がある。1人乗車の場合は自己負担増や自治振興区の持ち出しが生じる。何か手立てを考えてほしい。</p>	<p>それぞれの地域にあった交通体系が考えられなくてはならない。今後の課題として行政と議論していく。</p>
【 口和地域 口和地区 】	
<p>安芸高田の川根地区が全国的にも注目されているところだ。地元で運行するという組織を作られている。視察に行ってもらいたい。</p>	
<p>地域生活バスに実際乗ってみて、必要な路線かどうか確認してほしい。</p>	<p>仕組みも変わってきている。レンタカー方式では料金を設定をしても良いとなっている。今の仕組みは、旧市町の中心までしか行けないことになっている。</p>
【 高野地域 高野地区 】	
<p>デマンド交通について、合併前と比べて便数が少ない。以前は4台で回遊していたが変更となった。現在の予約型は頻繁にお願いするのは頼みづらく気がねをする。バスの便数を増加してもらえないか。老人が病院や温泉に通うことにより、引きこもりやコミュニケーション不足の解消、健康の維持増進により医療費の抑制につながる可能性もある。交通費の経費はかかるが、総合的な考え方で住民福祉を判断してほしい。</p>	<p>旧高野町時代、バスは4台町内をまわっていたが、利用効率はよくなかった。アンケートで利用形態を調査し、コストも考えて現在の予約運行型となった。また、以前はスクールバスも併用していたが、現在は原則、混乗は認められていない。便数は少ないかもしれないが今も昔と変わらず、遠慮なく乗車してほしい。</p>
【 比和地域 比和地区 】	
<p>バスを小型化することによって、採算性が確保できるのではないかな。</p>	<p>変わらないと思う。</p>
<p>市民の交通の便は、しっかり考えてほしい。</p>	<p>年内に全て市民タクシーに移行する地区もあるが、すでに2人乗車が困難であるとの意見もいただいた。市内でもそれぞれ状況が違い、細分化した取り組みが必要と考えている。</p>
<p>白タク事業も考えてほしい。</p>	<p>国家戦略特区で解禁される事業であり、今後の研究課題です。</p>

<p>視察先の秋田市と本市との比較はどうか。</p>	<p>一般会計予算では、秋田市 1,300 億円、本市 300 億円と違いがあり、人口規模も違うが、公共交通への支出は、秋田市2億 5,000 万円、本市2億 4,000 万円で、単純には比較できない。改めて、本市の広さにより、効率のみでは考えられない利用者側のニーズの多さを感じた。</p>
<p>バスの運行で儲けが出ている部分はないのか。</p>	<p>バス運行に係る本市の負担額が2億 4,000 万円であることから、ご推測いただきたい。</p>

(4) 林業振興施策について	
質疑・意見	会場での回答
【 庄原地域 東地区 】	
委員会の重要テーマである林業振興施策について説明がないのは何故か。	本市は84%の林業面積がある中で、前回の政策を反省して森林組合など協議してしっかり基幹産業として集約している状況です。
【 東城地域 八幡地区 】	
8月11日は「山の日」となっているが、本市は木の駅については補助金を出していても、山の関係についてはほとんど補助金がない。「八幡会」で取り組んでいるが、間伐や手入れをせよと言われてもできない。山主に少しでもお金が入ってくる手立てを検討してほしい。	来年から木の駅に対しての補助金は切れる。今後は廃材を6次化して、束木やペレットにして発電するといったことに取り組む必要がある。今度、会派で環境省と農林水産省へ行くようにしているので、しっかり伝えてくる。
【 東城地域 田森地区 】	
企画建設常任委員会の閉会中の継続調査について具体的に何をするのか。	バイオマスでの火力発電をすることの調査です。
【 東城地域 帝釈地区 】	
木の駅プロジェクトは3年目となった。平成28年度で市の補助金が終了すると聞いている。広島県において、こういった取り組みを広める施策がとられようとする中、先駆的な取り組みとして、段階的な補助金の縮減などを検討してほしい。	これからの検討課題としてとらえている。
【 口和地域 口和地区 】	
林業施策について何かあれば報告してほしい。	8月2日に群馬県上野村にペレットのガス化発電を視察に行く。

(5) 農業振興施策について	
質疑・意見	会場での回答
【 庄原地域 高地区 】	
アスパラを作ってわかったが、もっと指導機関を充実させてほしい。	農協等と話してみる。
【 西城地域 西城地区 】	
パワーポイントでは、本市への課題、参考となったことや提言などとあるが、具体的には。	企画建設常任委員会では、新たな産業を興すための企画提言までではない。庄原市には耕作放棄地が増え、有害鳥獣の被害もある。市の財政も考慮しながら産業を興そうとする基盤をどうつくるかが課題。商品が売れて回収できれば雇用拡大につながり農業関係人口も増やせる。ワールドファームに行き、技術を活かし商品を作り、産業的に結びつけるシステムが参考となった。耕作放棄地対策や農業の雇用促進を図るため、今後、こうした手法やシステムなどを積極的に行政に提言していきたい。
本来なら計画があり、どの部分が不明なので調査に行くという点が不明。それが明確であれば、報告としての完成度が高いが、ただ地域の経済、農業、林業等の活性化の糸口などのために視察に行くという漠然とした側面が多いので、市民としてはわかり難い。	庄原市においては市内の価値がわからない。市議会としても農業人口を増やしたい。また、培ってきた技術をよりうまく活用するために検討をする際、あるいは具体的にどうするかと考えたとき、先進地へ視察に行き、実際のノウハウを参考に行政にも提案している。
	米価低落、耕作放棄地も増加。平成30年に国の補助金もなくなる。耕作放棄地が加速度的に増加する。本気で考えないといけない。地域が衰退する課題をもって視察に行った。
【 西城地域 八銚地区 】	
油木の集落は65歳以上が70%、営農組織でも農作業が難しく、このままでは働き手がいなくなる。農業公社は農作業の受委託のほかに、一歩進めた新しい組織作りが必要ではないか。	公社については、委員会においても幾度も論議を重ねている。出来ることから確実にやっていかなければ消滅する。今後も執行者としてしっかり話し合っていきたい。
地域をまとめて一括生産の考えを持てば効率は上がる。範囲を広くし、農業も採算の取れる事業となるよう考えてほしい。5年先が見えない状況にある。企業は採算性が取れない地域には来ない。狭い耕作地についての考えは。	庄原市東城町の(株)vegetaは地元雇用や、狭い耕地での作付けも行っておられる。今後、他企業の参入を図れるよう対策を考えていく。

【 東城地域 八幡地区 】	
自分はエゴマを生産している。土木工事業、建築工事業の会社が従業員を解雇しないで農業分野へ参入してエゴマを生産する取り組みを検討してはどうか。	(群馬県上野村の取り組みを紹介。)
【 東城地域 田森地区 】	
企画建設常任委員会の閉会中の継続調査について具体的に何をするのか。	キャベツ団地(企業連携)を調査します。
【 比和地域 比和地区 】	
旧比和町には食育改善グループが3カ所あった。今後、耕作放棄地がふえる状況の中で、新しい作物を生産し、6次産業化に取り組みたい。大きくするのではなく、小さな農業が生き残れる対策を望む。	庄原市東城町の(株)vegeta では狭い農地でも作付けを行っている。人材が不足している面はあるが、販売先は決まっている状況にあり、期待している。

(6) 観光振興施策について

質疑・意見	会場での回答
【 庄原地域 本村地区 】	
庄原駅周辺の整備がされている。芸備線の望みがない中進んでいるが、改めて目的は何か聞かせてほしい。	長期総合計画の中で、庄原の玄関口を整備し、合わせて備北交通のバス停も含めた中で進めてきたが、時世の流れにより当初より縮小されている。
【 東城地域 田森地区 】	
企画建設常任委員会の閉会中の継続調査について具体的に何をするのか。	企業等の連携による観光客誘致を調査です。
【 東城地域 新坂地区 】	
観光に対してもっと積極的に議会から提案して欲しい。	帝釈の遊歩道を直すなど。観光客を増やす努力をしていきたい。

6. 意見交換	
質疑・意見	会場での回答
【 庄原地域 庄原地区 】	
<p>昨年の議会報告会で自治振興センターの建設要望をしたが結果はどうだったか。</p>	<p>平成 28 年3月に策定した「庄原市公共施設等総合管理計画」において、全ての施設を対象に設置目的や役割・将来の見通しなどを分析し、あるべき姿を検討する。今年度より着手する市民会館の整備の方向性について調査・検討を進めるとある。</p>
<p>第2期庄原市長期総合計画の議案に対して、賛成可決にいたる過程で、自治振興区の要望について、どのように審議されたのか。</p>	<p>議会は、基本構想及び基本計画を可決した。実施計画は議決の範囲ではありません。</p>
【 庄原地域 高地区 】	
<p>光ファイバーに対しての説明会はいつ頃になるのか。また、費用はどうなるのか。大変期待している。</p>	<p>民設民営(NTT)です。NTT に対して市が補助金を出す。費用の個人負担はないが、利用には費用がかかる。電話と告知端末で 2,000 円だが、同一ライン内の通話は0円である。その他利用に対しては負担のかかる部分と無いものがある。12 年後に再検討して見直しがされる。14,400 世帯が契約すると経費が合うと言われている。</p>
<p>光ファイバーが公平に行き渡ることにより、この地域でも世界的な仕事ができると思い、とても期待している。</p>	<p>他市にみると徳島県三好市などは大変な山間部であるが、サテライトオフィスなど新しい事業を立ち上げて新規の雇用が図られたようだ。</p>
<p>庄原市のようなすばらしい田舎を、より良い環境を守りながら進んでいくよう努力してほしい。</p>	<p>そのように進めたいと思います。</p>
【 庄原地域 本村地区 】	
<p>庄原市学校適正配置検討委員会に地元の関係者が入っていないのはなぜか。中心地の重鎮だけが集まって決めているように思う。早いうちに将来の姿を示してほしい。統廃合の基準を示してほしい。周辺部は益々寂れてくる。</p>	
【 庄原地域 峰田地区 】	
<p>なぜ部長制復活なのか。それによって経費が上がるのではないか。</p>	<p>政策推進の速度を早めるため。横のつながりを作り、問題解決に向け情報交換できるようにするため。</p>
	<p>部長制導入によって 4,200 万円の削減になっている。</p>
<p>市道(峰山家線)の改良工事の、来年度の計画について教えてほしい。</p>	<p>(後日、回答済み。)</p>

【 庄原地域 敷信地区 】	
視察に行っても、それがそのまま取り入れられるわけではなく、理想論にしか聞こえない。もう何年も前から課題は変わっていないのに前に進んでいないように感じる。こんなことで大丈夫か。議会としてどう具現化していくのか考えてほしい。	
人口が減ることは、地産地消のためには逆に良いことではないだろうか。	
【 庄原地域 東地区 】	
議会運営で議員が市長に対して答弁を求めても答えないのは何故か。また、議長から市長に対して答弁を求めることは出来ないのか。	本会議では、どんな立場の職員が答弁しても市長の答弁と同じ責任ある発言です。
会派で政務活動費で視察研修しているが、しっかりと執行者に対して提言してほしい。残念ながら成果が市民に見えてこない。	政務活動費による調査・研修は、目的や課題、また、参考とすべき事項、執行者に提言すべき施策を報告書に記載して議長宛に提出しています。当然ながら、執行者にも提出する。市民のみなさんに公開しています。
【 庄原地域 山内地区 】	
昨年度の議会報告会で、自治振興センターの耐震診断を要望した。回答は、耐震診断の対象ではないとのことであるが、災害が発生し、被災したときにはどうなるのか。回答が不足している。もう一步踏み込んでほしい。	昨年の要望に対する執行者からの回答は、ここまでしかない。
超高速情報通信網の利用方法について、どのような検討をしているか。全市に敷設が完了してからでは遅いので、見守りへの活用など、今から考えるべきであろう。	サテライトオフィスや高齢化社会対策などへの活用を検討して執行者へ提言していきたい。
超高速情報通信網は議会が提案して、勝手につくらせたという噂があるが本当か。	そのようなことはない。執行者と連携し進めていく。
毎日、超高速情報通信網を活用して告知放送が行われているが、もっと検討してほしい。	
庄原市の雨量計は、どこに何カ所設置されていて、どのように利用されているのか。	詳細については、わかりません。
西城川に橋脚を建てることによる水害の発生を心配し、雨量計の設置を県土木に提案したが、回答はなかった。行政だけが情報を見られるようなシステムではなく、インターネット上で市民も見られるようなシステムを検討してほしい。	そのように要望していきたい。

長い時間をかけて造林し、保全のために間伐をしたが、面積が小さいため補助金の対象にならない。長年の苦勞が報われない。	現状では補助事業の対象とはならない。地域で集団施業を行う方法がある。
猪の駆除について、どのような対応なのか。	駆除申請を行い、駆除班に依頼することになる。
猪の駆除について、もっと本気で取り組んでほしい。他市では、駆除者に対する補助金を増額することで、猪が減ったとのことである。そういったことも検討してほしい。	検討していきたい。
猪により田んぼの畦が壊されるが、補助金の対象とならない。今後提案して行ってほしい。	
【 西城地域 西城地区 】	
光ファイバーによる告知放送を早く整備することができないか。	NTT の都合によるもので、市の意向だけで計画変更は対応できない。
庄原ダムの有効活用方法はあるのか。	主に市水道(灰塚ダム一部代用)のために作ったもので、水量からしても少水力発電など他の活用はできないと考えられる。
少子高齢化が西城町で進んでいる原因について何か。対策はあるか。また予算配分について他地域と差があるのは何故か。	西城は、確かに施設が充実しているが衰退している。その少子高齢化の原因の明確な回答はもっていないが、住民の皆さんが日頃から地域の過疎化を嘆く発言をされると、子どもや孫が地域から出て行ったり、帰って来なかったりすることも考えられる。住民の方も意識をもって、もっと行政をチェックすべきではないか。また、いろいろな施設があれば、みんなが残ってくれるというものではないと思う。
合併して今日まで環境が良くなった実感がわからない。どのような政治活動で住民福祉の向上に努められるか。少人数の会派におられても、説得力のある説明をすれば、政治は動くと思う。政治活動費をしっかりと利用されて活動をされるべきだ。	今日は議会報告会なので会派の話はできないが、これからもしっかりと勉強してまいりたい。
【 西城地域 八鋒地区 】	
庄原市におけるコンパクトシティの考えは。	現在、比和と西城に冬季の高齢者向けの住宅について進められている。
コンパクトシティ化が進むと益々地域は疲弊すると思う。性急に進めないでほしい。	夕張市への視察からも、長い年月を要し、住民のみなさんの賛同なくては進められない事業です。

<p>高齢化とともに、自助・互助力が弱くなってきた。地域と行政との協働が大切であると思う。合併後、地域課題に対してがんばれと言われることが多くなってきて、ほとんど行政職員が出向くことが無くなってきた。また、モノづくりではなく、人づくりにシフトしていただきたい。</p>	<p>合併後、行政効率の面から職員数は減少し続けている。議会としては支所の人員削減について常に議論があり、市民目線に立った配置を提言している。</p>
<p>【 東城地域 小奴可地区 】</p>	
<p>昨年も質問したが、木質バイオマスの件はどうなったのか。</p>	<p>その会社は破綻をして、刑事裁判で有罪判決が下っています。庄原市は事業継承で取り組みましたが、そのプラントを使うことは無理だということになりました。市は事業継承をあきらめました。水増し請求分の補助金2億3800万円を国に返しました。また、現在は市に対しての裁判が行われています。</p>
<p>色々な問題から補助金が減っているが、この点はどうか。それにより住民が不利になっているが、その点はどうか。</p>	<p>国県に対して努力している。</p>
<p>視察に行っているが、それを庄原市にどの様にいかしているのか。</p>	<p>視察を活かすべく努力しています。担当課に話をしていく。</p>
<p>他にも会派で視察をしているが、どの様に活かしているのか。</p>	<p>それぞれに報告したり、一般質問で活かしている。</p>
<p>猪の被害が広がっているが、どうするのか。柵をしているだけは被害が広がるばかりではないか。</p>	<p>捕獲班を作るべく補助金等をしているが、年々、減っている。</p>
<p>色々な制度は入れないだけだが、捕獲に対する補助はどうなっているのか。</p>	<p>動物によって捕獲者に直接払う補助があります。</p>
<p>肉の売買がされていると聞かす。</p>	<p>関係法や規定に沿ってされるものです。</p>
<p>有害鳥獣対策については、もっと資格を取る様指導したほうが良い。</p>	<p>検討させていただきます。</p>
<p>山林に植林された木が手入れされないが、これが災害の元になるのではないか</p>	<p>1月の雪害木は県民税等で対応すると聞いています。</p>
<p>東城町のごみ処理システムが終わろうとしているが、ごみ処理を庄原市としてどの様に考えるのか。</p>	<p>平成35年を目指して検討している。</p>
<p>川にサンショウオが大変ふえて魚を食べているが、どうにかならないか。</p>	
<p>光回線のシステムは停電したら使えないと聞いたが。</p>	<p>そのとおりです。</p>
<p>停電時に使えないような物を議会は可決したのか。</p>	
<p>一人暮らしの老人家庭などは、それでは困るが他の方法は無いのか。</p>	<p>今のところ、NTTからは他の方法は示されていない。</p>

もっと、議会は考えないのか。議会が良しとして可決したのは議会として考えるべきではないか。せめて、一人暮らしや身体の不自由な方に対する方策を検討するように。	他の方法を検討する様になっています。その点は総務常任委員会で検討していきます。
特に弱い立場にある方の配慮を考えてほしい。	
議会報告会は他の方法を取ることは考えないのか。地元議員中心にできないのか。	地元から要請すれば、地元議員は喜んで出席されるでしょう。他の日に計画していただいても構いません。
小集落に医療の手を入れないか。ドクターヘリや車両の様なもので、医師を運び検診を定期的に受けられるように考えてほしい。	帝釈地域には日赤の車両が月2回巡回します。地域の方は大変に助かっておられます。検討していきます。
【 東城地域 八幡地区 】	
視察に行かれたが庄原市へどのような効果をもたらすのか。	執行者の提案に対してイエスかノーを示すだけでは済まない状況だ。政策提言するための資料集めとして、3常任委員会とも視察研修をしている。行って現地を見ないとわからないことも多くあり、少しずつ効果は上がっている。
【 東城地域 田森地区 】	
議会の目指すものは何か。	農業振興であれば耕作放棄地を無くす様に各自、目的をもって頑張っている。
部長制は一度廃止したのに復活したが議員の見解は。	行政の範囲が多岐に渡っており、担当課だけでは解決できない課題もある。他の部署との横断的に連携をとるためにも部長制が必要と判断。組織は、変えてみて弊害があれば手直しすれば良いと思う。但し、部長制は議会が全員一致でなかったのではない。
支所機能が衰えている。支所が中継ぎ役だけとなっている。	東城だけでなく、他の支所も同じで人手不足を感じる。
少子高齢化が進展し、市は自治会単位の人口推移を出そうとしているが、これは単に住民の不安を掻き立てるのか、早く中心部に移住しなさいという意味なのか。本当に市が過疎対策に一生懸命取り組むのかかわからない。	
定住促進について議会の考え方は。	粟田地域は、定住促進では市内を代表する取り組みをされ実績をあげられている。この件については議員が一般質問の中でも取り上げている。
小規模校の今後の対応について議会の考え方は。地元の保育所、小学校は規模が小さいことだけで統廃合は考えるべきでない。	今年の5月に庄原市学校適正配置検討委員会が発足しているが現状把握の段階です。会議は公開で経過は教育委員会のホームページにも掲載されている。

<p>リフレッシュハウス東城のあり方について議会の考え方は。改修して健康促進のセンターにして欲しい。健康増進と地元にある施設として有効利用したいので、議会からの応援も頼みたい。介護サービスについて議会の考え方はどうか。また、比婆いざなみ街道と一体的に整備をお願いしたい。</p>	<p>現状維持の予算となっている。地域振興については地元の米作りや木の駅構想などの連携や活用も考えられる。施設の建設と介護保険料のバランスの問題もあるので、行政のみでなく事業所や個人の対応も考えるべき。</p>
<p>【 東城地域 帝釈地区 】</p>	
<p>帝釈小学校校舎の利活用について。</p>	<p>100㎡以内の利用であれば用途変更はいらないが、不特定多数の利用が考えられる場合は、防災関係、避難経路、消火栓など、さまざまな制約と財政支出が生じ、そこまでの予算措置はしないこととなっている。現在、立ち上げられている検討委員会での意見をまとめられ、担当課と話し合っていたきたい。</p>
<p>【 東城地域 新坂地区 】</p>	
<p>前年度の問題点をはっきり答えなくては市民が会場に来なくなる。</p>	
<p>昨年と今年でテーマが違うが、昨年のことはもう終わったのか。</p>	
<p>もっと生の声で議会報告会をしてほしい。かならず答えを返してほしい。</p>	<p>その様に努力していきます。</p>
<p>振興区の体育館の屋根がサビている。以前にも話をしたら、担当者に伝えると答えがあったが、その後、連絡が無いがどうなっているのか。</p>	<p>よく調べます。(後日、連絡済。)</p>
<p>報告会に前年度の回答を持って来る様にしないと意味が無い。メンバーが替わり、テーマが違うが、昨年のことはもう終わったのか。終わったのなら報告をすべきではないか。</p>	<p>毎年、テーマを変えているので、新しいテーマにしたがって報告会をしています。</p>
<p>【 東城地域 久代地区 】</p>	
<p>議会は毎年地元で議会報告会を開催して、地域の住民と意見交換をして熱心さを感じることが出来るが、市役所の職員が地域に出向いての熱心さが見えてこない。</p>	<p>我々議員も、しっかりと職員に働きかけたい。一緒に地域の行事等に参加する事で、お互いに支え合っていくことが大切です。</p>
<p>久代自治振興区の課題は、自主防災を地域でしっかりと連携するために、議会の協力が必要である。(たとえば、拠点施設等の課題は廃校を利用する。)</p>	

市道久代中央線の改良事業の進捗状況について。	(進捗状況の資料により説明。)
【 高野地域 高野地区 】	
議会報告会や議会だよりにも自治振興区について触れてない。合併前は自治振興区の設定に夢や希望があったが、10年経ち現在は軽視されているのではないかと。議員はどのように自治振興区を評価され、どのように考えているのか。	自治振興区も人口が多いところの一人当たりの補助金額が、人口が少ないところと差があり、執行者は3年かけて是正をしている。しかし、小さい自治振興区は活動できなくなる恐れがある。活動費も下がることのないようにしたい。
	基本的には合併により高品質ですばらしいサービスが提供できることが約束だったが、今の行政の状況をみれば、自治振興区に丸投げして、振興区の力量により回っている現状がある。自治振興区が後退をしないように努力したい。
福祉六法を支所で見せてもらおうとしたが、本庁しかないと言われた。合併により支所権限が低下していると思う。もう少し権限を持たせるべき。本庁での判断が多すぎる。	合併自体が本庁に集約するものだったが、支所が疲弊することがあってはいけなくて、改善していくように努めたい。なお、福祉六法は、パソコンから必要な条文を出してもらえる対応となっていると思う。支所の人数が少ないので、現場で対応されている場合は、担当者は不在となり、異動により事務精通した人も少なくなっている。執行者へも伝えたい。
【 比和地域 比和地区 】	
各委員会の説明はわかりやすかった。説明のあった取り組みについて、最終結論はどうなるのか。	それぞれのまとめは議会の中で報告し、議員全員の共通認識となっている。これから議論を戦わせていく。改めて9月議会で執行者に提言を行う案件や予算編成について、今後継続して取り組む案件もある。
【 総領地域 総領地区 】	
超高速情報通信網整備の進捗状況はどのようになっているか。現在、どこまで整備が進み、加入率はどうか。	平成26年度からの5カ年で市全域を整備する計画で、昨年度までに庄原地域・東城地域・山内地域の区域内が整備されている。加入率は50%程度です。

7. 議会へ対する質疑・意見・要望	
質疑・意見	会場での回答
【 庄原地域 高地区 】	
議会はもっと他団体との話し合いを進めて、庄原市の将来ビジョンを作っていくようにされたい。	頑張ります。
【 庄原地域 峰田地区 】	
教育民生常任委員会へ。他の委員会も含めて、議会報告会での資料は、別に作成すべきでは。議会への報告書と、市民への報告書は別物と考えるべき。	
【 庄原地域 北地区 】	
議会だよりが発行されており、一般質問に対する回答は掲載されているが、その後どうなったかの追跡がない。なんとかならないものか。	限られた紙面の都合もあると思う。持ち帰り議会広報委員会へ伝える。
【 西城地域 西城地区 】	
委員会の視察について。視察は事前に目的をしっかりと定めて、庄原市に何を求めていくのか議論をしてから行って欲しい。ただの旅行のように思える。具体化できることを望みます。	
【 西城地域 八銚地区 】	
市政懇談会より、もっと、密に話し合えると思って3年来た。大きな市になると、全市同じ施策になっているが、千差万別の地域であり、3つの常任委員会と同じ方向を向いて、画一の施策ではなく、地域に応じた施策を望む。	
【 東城地域 田森地区 】	
地元で地元の課題をじっくり議論してから臨んだ。議会の回答は物足りなさを感じる。本気で議論してきて、全ての面で改めて話しに応じるのが必要。特に委員会でしっかり議論すべき。もう一度、田森で報告会をして欲しい。	今回の自治振興区からの意見は、各委員会で持ち帰って調査等をしないと、すぐに回答できない。持ち帰って検討したい。
事前通告している要望は、陳情等したいと思うので、御尽力をいただきたい。	
粟田小学校、田森保育所は地元には必要な施設であるので、防災面、地域のコミュニティの中心的存在であることも含め、小さな学校の意義を考えてもらい、存続できるように議会も協力して欲しい。	

【 東城地域 帝釈地区 】	
委員会における継続調査項目の内容は、先の見えない具体性のないものでは困る。はっきりした課題を持ってほしい。	
【 口和地域 口和地区 】	
予算決算常任委員会の中継も流してほしい。	
光回線が入っているが、防災機能を果たしていない。停電したときの対応はどうなっているのか。国交省は防災無線が最優先と言っている。	26年度に事業を決定したとき、今ある防災無線は使える時まで使おうとなっている。持ち帰って委員会で検討する。
【 高野地域 高野地区 】	
市の機構改革で自治定住課から、自治振興係へ、専門の窓口を規模縮小されたことについて説明、報告もなく疑問。住民軽視、行政不信に繋がる。議会にも説明があっただろうが、自治振興区への情報提供はなかった。	
自治振興センターへ市からの要求(選挙の投票立会人の推薦など仕事の依頼)が多くあり対応に困っている。議会からも執行者と自治振興区のあり方をしっかりと議論していただき、振興区が元気になるよう応援して欲しい。	しっかりと受け止めたい。

8. 行政に対する質疑・意見・要望	
庄原地域 高地区	市長が考える庄原いちばんとは何なのかをもっと具体的に示す必要があるのではないかと。
庄原地域 峰田地区	今年から5名の児童が、赤川のまちを通過して通学している。仲蔵寺の下～赤川のまち～小学校まで、歩道がまだできていない。すぐにはできないと思うが、せめて、児童の交通に係る標識が3箇所しかないの、「通学路」などの標識の設置を求める。
庄原地域 敷信地区	比婆牛をもっと増やすことを真剣に行ってほしい。 給食の米が美味しくないと耳にした。完食を目指すなら給食でコシヒカリを出してほしい。牛乳を毎食出すことをやめて費用に充てるなど、方法があるのではないかと。
庄原地域 東地区	振興区から生活道路の改良事業を要望する。 エアコンが設置されていない学校へのエアコン設置を要望する。気温が30℃もあるような教室では、子供たちが能率よく学習できる環境ではない。今後、統廃合が見込まれている学校であっても早急な対応が必要である。
庄原地域 北地区	企業OB等をスーパーコンサルとして行政職場に取り入れている例もあるようだが、県職員OBにも土木、農業改良普及員などがいるので、市としても活用すべきでは。
西城地域 八鉾地区	国道183号、314号線沿いの環境整備について、特に大雪や大雨時における対策を考えてほしい。 現在のごみの分別は高齢者にとっては負担が大きい。ごみステーションの増設も含めて検討してほしい。 災害時、補修工事を依頼した際に「農道だから駄目」と言われた。家がなくても市道のままであったり、名称変更時には、きちんと説明してほしい。 地元への十分な説明も無く、油木小学校が廃校となった。今後、どのような方法で地域の行事で使用できるのか。敬老会など地域にとって大切なコミュニティづくりの場所である。
東城地域 田森地区	粟田小学校、田森保育所は必要な施設であり、防災面、コミュニティの中心的な存在であることも含め、小さな学校の意義を考えてもらい、存続できるようにしてほしい。 少人数学校を持ち回りで指導されている先生がいるが、先生の負担軽減のために人員増をお願いしたい。 空き家へ定住を進めるに当たり、空き家の荷物や家財の整理について、処分に経費がかかり関係者や振興区も苦慮している。補助金等の支援をいただきたい。
東城地域 東城地区	(1)東城地域全体として ①人口の減少の対策 農林業・地場産業が衰退し、若者が都市に流出して定住しない。

	<p>②支所機能の衰退の対策 東城支所の職員が激減し、支所機能が弱体化している。人手が足りないと出向くことをせず高齢者が支所へ出向かざるを得なくなったり、訪ねても担当者不在で要件が済まないことが多々ある。</p>
	<p>③生活道の整備 整備工事が停滞中の地域(栗田～千鳥等)が随所にある。</p>
	<p>(2)東城自治振興区内として ①東城自治振興センター駐車場の確保 当施設は緊急避難所に指定されているが、駐車スペースは13台分で、隣接の支所駐車場とは氾濫が予測される河川で遮られ、緊急時に避難する者が2次災害にあう可能性がある。</p>
	<p>②「三楽荘」「えびす」の有効活用 東城自治振興区と東城まちなみ保存振興会が連携を密にし、活性化につなげてはどうか。</p>
	<p>③公園の整備 緑と遊具のある公園が便利な場所にあると住みよい町になる。</p>
	<p>④空き家の活用 空き家を憩いの場として多面的に活用できれば、顔見知りや友達ができお隣さん運動にもつながる。</p>
	<p>⑤公衆トイレの設置 川西・戸宇・福代等から通学する児童生徒やウォーキングをする者にとって、公衆トイレが何カ所かにあれば良い。</p>
	<p>(3)東城自治振興区内自治会として ①危険な交差点への信号機設置(川西上自治会) 事故多発地点(旧国道市頭川西線と宮平団地入口交差点及び県道足立東城線と市頭川西線交差点)に、安全確保のための信号機又は一旦停止標識の設置が望まれる。</p>
	<p>②地域集会所の設置(下町自治会) 下町自治会は、大正町・新町・新丁・下川西の4地区で形成されているが、どの地域にも集会所がなく地域の大きな課題である。</p>
	<p>③国道182号線の整備(福代自治会) この国道には、1.2kmの歩道未整備区間があり、特に、JRガード下は狭く交通事故多発地帯である。法面は樹木で覆われ見通しを遮っており、通学道でもあり整備が急務である。</p>
東城地域 帝釈地区	<p>自治振興センターへの進入路が非常に危険であり、対策を考えてほしい。</p>
	<p>地域マネージャー制度が本年度で終了すると聞いている。地域づくりに必要な人材であり、名称を変えてでも継続してほしい。</p>

	<p>自治振興区制度は本市の特徴ある取り組みである。今後も積極的な活動を行っていくため、必要な予算措置を望む。</p> <p>昨年度の報告会における県道東城庄原線に関する執行者への要望に対する回答について、県に対してどのように要望し、どのような理由でできないのか等、誠意を持った回答をしてほしい。</p>
東城地域 新坂地区	道路草刈り作業実施交付金制度について。今年度も地域の市道の草刈を行ったが、単価を上げてもらわないと、今後はできない。
東城地域 久代地区	市道久代中央線の改良事業の早期完了を要望する。
	県営事業の河内高野線開設事業の早期完了を要望する。
口和地域 口和地区	最近、熊が頻繁に出没している。熊被害に対してハンターが各地域にいるが、庄原管内は何頭捕獲せよという指示を出してほしい。県がその権限を持っており、今は狩猟期ではなく、殺してはいけないとされているが、このまま放置しておく、秋になり山へ行ったときなどに襲われる可能性がある。
高野地域 高野地区	尾道松江線の通行について、1車線をトラックなど速い車が煽るので危険である。何か良い対策はないか。
	早期の全線4車線化について、期成同盟会を通し、国、国会議員など関係機関へ強く要望されることを希望する。
	道の駅にバス停留所があるが、乗客数や渋滞等で定時に発車できないこともあり、道の駅の停留を止めたバス会社もある。道の駅の活性化のためにも、バスの停留所を高速道路上に設置していただきたい。

9. 報告に対する質疑（特設会場）

質疑・意見	会場での回答
【 特設会場 庄原格致高校 】	
<p>今問題となっている課題に対して、高校生としてどんな活動をすればよいか。</p>	<p>今すぐにはではなく、高校を卒業して市外に出ても、力を蓄え地元へ戻って欲しい。</p> <p>いろいろな課題に対し、まずは両親などと家庭でしっかり議論をすること。</p> <p>格致高校の課題解決のプロジェクトをしているが素晴らしい。ごみ問題や教育問題にも是非取り組んでいただきたい。高校時代に勉強したことが今でも重要な部分を占めている。地に足ついたところから問題提起をして、考えながら実行して欲しい。</p>
<p>何故、議員を目指したのか。</p>	<p>学生時代に25歳の議員と知り合い、地域を愛する姿勢に憧れた。また、結婚して家族ができて、まわりを見つめた時、10年前と比べて寂しくなっている気がした。しっかり議論の場に立って、市長や議員と議論をして、この街を良くしていきたいと思い立候補した。</p> <p>地方の自治体は予算を持って、市民の皆さんのために使うが、それを決める立場に立てるのは、長か議員になるかしかない。市民は直接予算を決めることができない。家族や地域のことを考えた時、自分の考えが行政に反映できる立場になろうと決意した。</p> <p>社会科学をしようと思った。社会的事象が自分とどのように関わり、それによって自分の生活にどのように関わり、それを変えようとするとうすれば良いか。というのを総合的に考える立場が市会議員だった。</p>
<p>フィールドワーク以外にどのような方法で市民意見を聞いているか。</p>	<p>普段の生活の中で感じる事、例えば外食時や家族の会話、今日この場で皆さんの話を聞くことも、全てが議員にとっては糧となる。</p> <p>生活相談を受けることがある。市に相談しても解決できないことなど、しっかり聞いて様々な方法で、声なき声を吸い上げる。議会が終わると報告をしたり、電話があればすぐに現場に駆けつけるなど、声が出しにくい所をしっかりと聞きたいという思いを持って活動している。</p> <p>今日、ここに来るまで全てが議員活動。また、色々な団体に所属して話を聞くのも手法。</p>
<p>これから中山間地域で暮らしていく魅力は何か。</p>	<p>いちばんは働く場だと思う。理念だけでは庄原に住めない。収入を得て、伴侶を求めて、子どもができて、生活を持続的に発展していくためには、働く場が必要であり、新産業の創出が議員に課された課題。光の高速情報網を活用してネット会社の誘致も可能だし、自宅で働くことも可能。庄原市の主要産業は農林業だが、それを活かさない手はないと思う。皆さんと、また違う場で議論をしたい。</p> <p>皆さんには、山や農地を守り農業を盛り返す気概を持って欲しい。</p> <p>価値観の変革だと思う。お金を稼ぐことが一番大切だという価値観がある限り、ここに多くの方が住むということにはならない。価値観を政治が誘導しない社会をつくっていかなければならない。勉学は勉学で独立したもののよう。</p> <p>課題が大きいので、ここですぐに明確な回答というのは難しいと思いますが、こういった課題を家でも友達ともして欲しい。</p>

【 特設会場 西城紫水高校 】	
議員になって大変なことは何ですか。	まちで声をかけてほしい。みなさんとの会話が楽しみ。
	大変なことはありません。まちの活性化を望んで頑張っています。
	特にないが、将来ある人は大いに頑張って、将来、政治を志してほしい。
議会のない日は何をしているのか。	市役所で情報収集をしている。
	報告のための資料のまとめを行い、少ない時間ではあるが、趣味の時間もある。
現在、どのようなことが課題となっているのか。	市民の方の現状に即した課題が中心である。
	木材のバイオマス関係のこと、財政支出のこと、超高速情報通信網のこと、高校存続のこと、公契約条例のことを課題として議論している。
【 特設会場 東城高校 】	
参議院議員選挙で20歳未満の有権者の投票率がわかりますか。	庄原市選挙管理委員会がまとめをして、まだ、公表されていません。なお、庄原市の全体の投票率は、60.01%です。
前回の市議会議員選挙の投票率はわかりますか。	市議会議員選挙で78.78%です。
予算関係の資料はインターネットで調べることができますか。	庄原市のホームページには詳しい資料がたくさんあります。公表されていません。ぜひ、調べてみてください。
議員さんの給料はいくらですか。	議員報酬というもので支払われています。月額が325,000円です。議長、副議長や常任委員会の委員長などはもう少し違います。これらは市のホームページでも公表されています。
庄原市の地域活性化のために、庄原市はどのようなことをしていますか。	農林業の振興、観光交流や若者定住の推進があります。また、少子高齢化の対策、産業の振興若者定住や教育の支援、観光交流事業の推進などがあります。農業の振興でいうと、東城町ではキャベツ生産を進めている例もあります。

10. 平成28年度議会報告会の検証結果

(1) 開催時期等について

●一般会場

- ①7月11日～7月21日（6月定例会終了後）
- ②年1回
- ③原則平日の19:00～21:00

●特設会場 高校3会場

- | | | |
|--------|----------|-------------|
| 庄原格致高校 | 7月15日（金） | 9:50～10:40 |
| 西城紫水高校 | 7月15日（金） | 15:20～16:10 |
| 東城高校 | 7月21日（木） | 15:35～16:25 |

検証結果

●一般会場

- ①6月定例会閉会后、市政懇談会が始まるまでの7月中に実施する。
- ②開催時刻は、原則19時から2時間で実施する。ただし、各班において地元の意向を優先し、地域の実情を勘案しながら柔軟に対応する。

●特設会場

- ①特設会場は、7月以外の時期に追加して実施してもよい。その場合は報告内容を変える。懇談会形式での開催も検討してみる。
- ②未実施の高校への対応など、より多くの機会を求める。

(2) 開催会場の設定数について

【実施状況】

24会場（庄原8・西城2・東城7・口和1・高野1・比和1・総領1・特設3）

検証結果

- ①次回も市内自治振興区単位で21会場を基本に実施する。
- ②高校会場を継続するほうがよい。毎年でなくてよい。
- ③特設会場は、高校、商業施設、企業、団体など幅広く検討する。

(3) 報告内容等について

【実施状況】

- ①公契約条例について
- ②地産地消について
- ③高齢者の交通対策について
- ④林業振興施策について
- ⑤農業振興施策について
- ⑥観光振興施策について
- ⑦意見交換（地域別テーマ）について

検証結果

- ①常任委員会の報告内容は常任委員会に任せることを前提にする。
- ②標準の様式を設けるなど、報告の仕方は統一感があればよい。
- ③基本条例に基づいた議会報告会という本旨を間違えないようにする。
- ④地域テーマの対応は次の報告会の実施の検討の中で十分協議をする。
- ⑤地域テーマを求めない自由懇談の場合でも市議会の統一見解と個人の意見とは明示する。
- ⑥報告内容等は来年度の課題とする。

(4) 班編成について

【実施状況】

3名又は4名で構成し5班編成

(総務・教育民生・企画建設の各常任委員会から1名の選出を基準)

検証結果

- ①現行を基本とする。ただし、3名の班は他班の議員に協力(記録者)を求めて、4名体制をとることも可とする。

(5) 記録について

【実施状況】

班員(記録者)による要点記録

検証結果

- ①次回も現行どおりで実施する。

(6) 時間割について

【実施状況】

時間配分は各班2時間以内で自由に設定

- ・開会あいさつ
- ・議会報告・質疑・意見交換
 - (1) 議会活動報告
 - (2) 質疑応答
 - (3) 意見交換(地域別テーマ)
- ・閉会あいさつ

検証結果

- ①次回も現行どおり2時間で実施する。
- ②報告と質疑で1時間、意見交換で1時間を設定する。

(7) 配布資料・パワーポイントについて

【実施状況】

- (1) 一般会場
 - ① 報告資料を配付（総務、教育民生、企画建設）
 - ② パワーポイント資料を投影（総務、企画建設）
- (2) 特設会場
 - ① パワーポイント資料を投影

検証結果

- ① 配付資料、パワーポイントの利用は常任委員会に任せて実施したが、統一感があったほうがよく、申し合せをして実施する。
- ② 一般会場、特設会場ともに、パワーポイントの使用を前向きに検討する。

(8) 周知方法について

【実施状況】

- (1) 行政文書（全世帯へ配布）
- (2) 広報車（庄原地域）
- (3) 新しい告知放送・オフトーク放送・防災行政無線放送

検証結果

- ① 次回も現行どおりで実施する。
 - ② 新しい告知放送の導入状況をみて周知方法を決定したほうがよい。
 - ③ 議員自らが、より多くの市民に報告会へ参加してもらえるように働きかけを行う。特に地元議員は地元で声をかけてまわったほうがよい。
 - ④ 次年度は効果的な方法を再度検討する。
- (9) 報告会全体の運営について
- ① 地域テーマのあり方について引き続き検討する。